

devise-two-factor を4.xから5.xに上 げた話

Kazuhiro NISHIYAMA

株式会社*Ruby*開発

大阪*Ruby*会議04

2024-08-24

self.introduction

- 西山 和広
- Ruby のコミッター
- github など: @znz
- 株式会社Ruby開発
www.ruby-dev.jp

devise-two-factor とは？

- devise を TOTP の2要素認証に対応するのに使う gem
- ユーザごとに以下のデータを保存
 - 暗号化された OTP シークレット (認証アプリに登録するもの)
 - 使用済み OTP を区別できる情報
 - OTP が有効かどうか

4.x から 5.x への変更

- 下2個はそのままでもいいが OTP シークレットの保存方法が変更
- (再掲載) ユーザーごとに以下のデータを保存
 - 暗号化された OTP シークレット
 - 使用済み OTP を区別できる情報
 - OTP が有効かどうか

4.x から 5.x への変更

- 4 は attr_encrypted gem
 - encrypted_otp_secret, encrypted_otp_secret_iv, encrypted_otp_secret_salt に Base64 でそれぞれ保存
- 5 は Rails 7+ 標準の encrypted attribute
 - 暗号化したものを Base64 して JSON で otp_secret 1カラムに保存

更新手順

- 4 から 5 は Rails 6 から Rails 7 と同時に上げる必要あり
 - <https://github.com/devise-two-factor/devise-two-factor/blob/main/UPGRADING.md> に手順あり
- ほとんど gem は複数の Rails に対応していて独立して更新可能
 - 今回はそうならない

なぜか? (推測)

- `attr_encrypted` gem と Rails 7 で `#encrypted_attributes` メソッドが衝突する
- Rails 7 対応の `attr_encrypted` に更新すると二度手間だから一気に移行する手順になっている?

問題点

- 実運用環境なら Rails 7 に上げた後に Rails 6 に戻す可能性もあるのでは?
 - Rails 7 でユーザーの認証アプリと otp_secret だけが更新
 - このまま Rails 6 に戻すと encrypted_* が古くて認証失敗
 - UPGRADING.md には戻す手順はない
 - 独自対応が必要

具体的には

- UPGRADING.md に
legacy_otp_secret の実装例
- 公式の手順途中の動作
 - 読み込み
 - 新カラムが設定されていれば → otp_secret
 - なければ旧カラムを読む → legacy_otp_secret
 - 書き込み は新しい otp_secret のみ

独自に書き込み対応

- 新しい otp_secret 書き込み時に legacy_otp_secret の逆手順で encrypted_* に同期
- → legacy_otp_secret でデコードした結果が otp_secret と一致するのを確認して自動テストも追加

手動ダウングレードテスト

- 実際に戻してみてもテスト → うまく動かないので、さらに調査
 - → `attr_encrypted` が `salt` に `prefix` として `_` をつける `encode_salt` オプションがデフォルトで `true`
- `Base64.decode64` は `_` を無視するので `legacy_otp_secret` は動く
 - → 同期時に `_` を `prepend` して解決

まとめ

- 非互換のダウングレード対応は新バージョンでの互換メソッドの自動テストだけでは不十分
- 手動でダウングレード確認も必須
- その他の対応も場合分けして用意
 - 例: ダウングレード中に `encrypted_*` だけが更新されて `otp_secret` が古くなる
→ `otp_secret` を `nil` に戻すタスク

宣伝

- 福岡Rubyist会議04 <https://regional.rubykaigi.org/fukuoka04/>
 - 2024.09.07 Sat. 9:30–18:00
 - 主催: Fukuoka.rb / 株式会社Ruby開発